

授業科目 動作分析学

【担当教員名】 江原義弘	対象学年	1 ② 3 4	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

身体運動をとらえるための機器類の特性とその使用方法を学ぶ。  
動作の分析方法を学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

動作を分析して、分析結果を他の人にわかりやすく説明できる  
単に操作法を学ぶのではなく、何のためにその機器を使うのか、その目的意識を明確にもてる  
卒業研究で動作の分析をテーマとする場合に、自由自在に機器を操作できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	力学の復習、人体のモデル化		講義
2	筋トルクの計測		講義、実習
3	筋電計による筋活動の評価		講義、実習
4	モーションキャプチャ装置と床反力計による動作の計測		講義、実習
5	モーションキャプチャ装置と床反力計データの処理法		講義、実習
6	モーションキャプチャ装置と床反力計による動作の分析		演習
7	呼気ガス分析装置による身体負担の評価		講義、実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 レポート	【履修上の留意点】 人に見せたときに、見ただけでわかるようなノートをきちんとまとめる。 同級生に教えたり教えられたり協力し合って学習する。 パソコンのエクセルを学習しておく。
----------------	--